

環境配慮行動は愛他行動として理解できるか

# 愛他行動には4つのタイプがある

- 狭義の利己的行動：互酬的期待による愛他行動
- 広義の利己的行動：自尊心の高揚や罪悪感の回避による愛他行動
- 社会規範にもとづく行動：社会的是認や罰による愛他行動
- 非利己的行動：自己の効用と無関係な愛他的行動

# 環境配慮行動での非利己的要因

- 個人的便益・費用だけでは説明できない
- 社会的ジレンマ状況(廃棄物問題)での協力行動

コモンズ(共有財)の認識・共通の帰属意識(我々感情)による向社会的行動

- 社会的コンフリクト状況(公害問題)での支援行動

共感やコミットメントによる愛他行動



# 愛他行動の2つの心理学モデル

- 愛他行動は、

認知的判断による

(Latane & Darley, 1970 )


感情喚起による

(Batson, 1987 )



# 愛他行動の認知的判断プロセス

- 他者の窮境への注意→
- 援助が必要か否かの判断→
- 個人的責任の判断→
- 援助行動の探索→
- 援助行動の実行



# 援助が必要な緊急事態での目撃人数の影響（発作の実験）

- 隣接するブースの中での会話とその一人の発作を耳にする事態
- わかっているのは、自分以外にもどれだけ助けられることができる人がいるのかだけ
- 立ち会わせた人数に応じた責任分散の効果
- 責任の大きさの評価にもとづく援助行動の意思決定

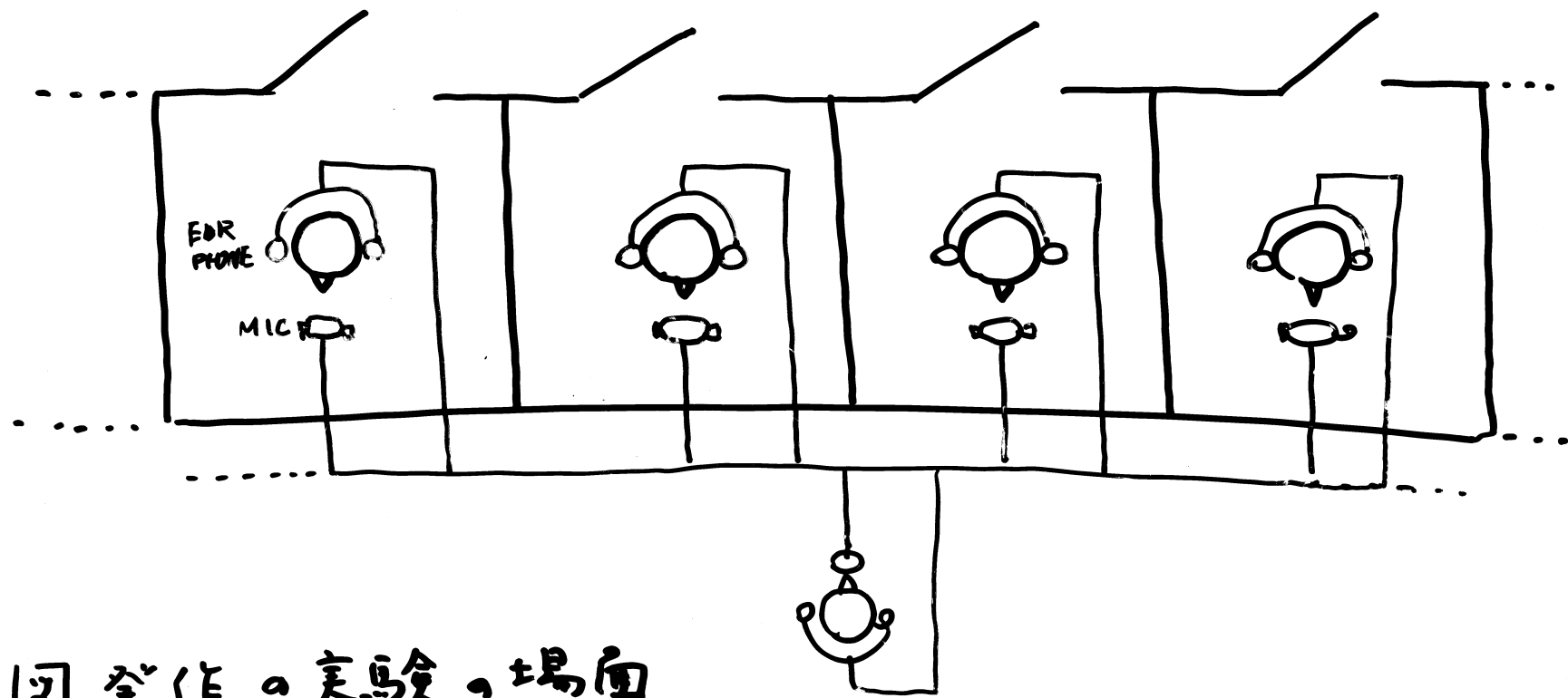


圖. 究作。実験。場面

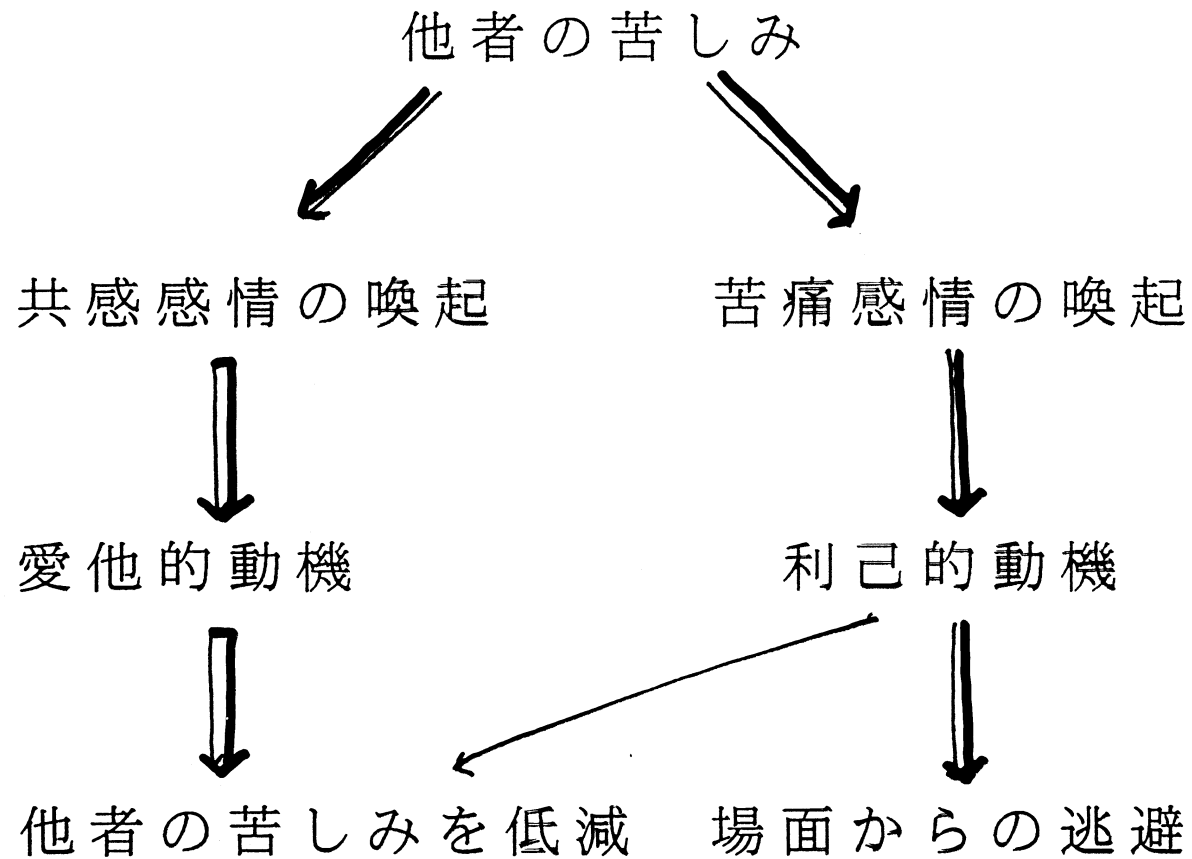


# 愛他行動の感情喚起プロセス

- 他者により喚起される2つの情動とその低減の動機づけ
- 他者の苦しみ→苦痛感情の喚起→利己的動機による逃避or援助
- 他者の苦しみ→共感感情の喚起→愛他的動機による援助



“共感と苦痛による援助行動”  
( Batson, et al, 1987 )



# 折衷的な愛他行動のモデル

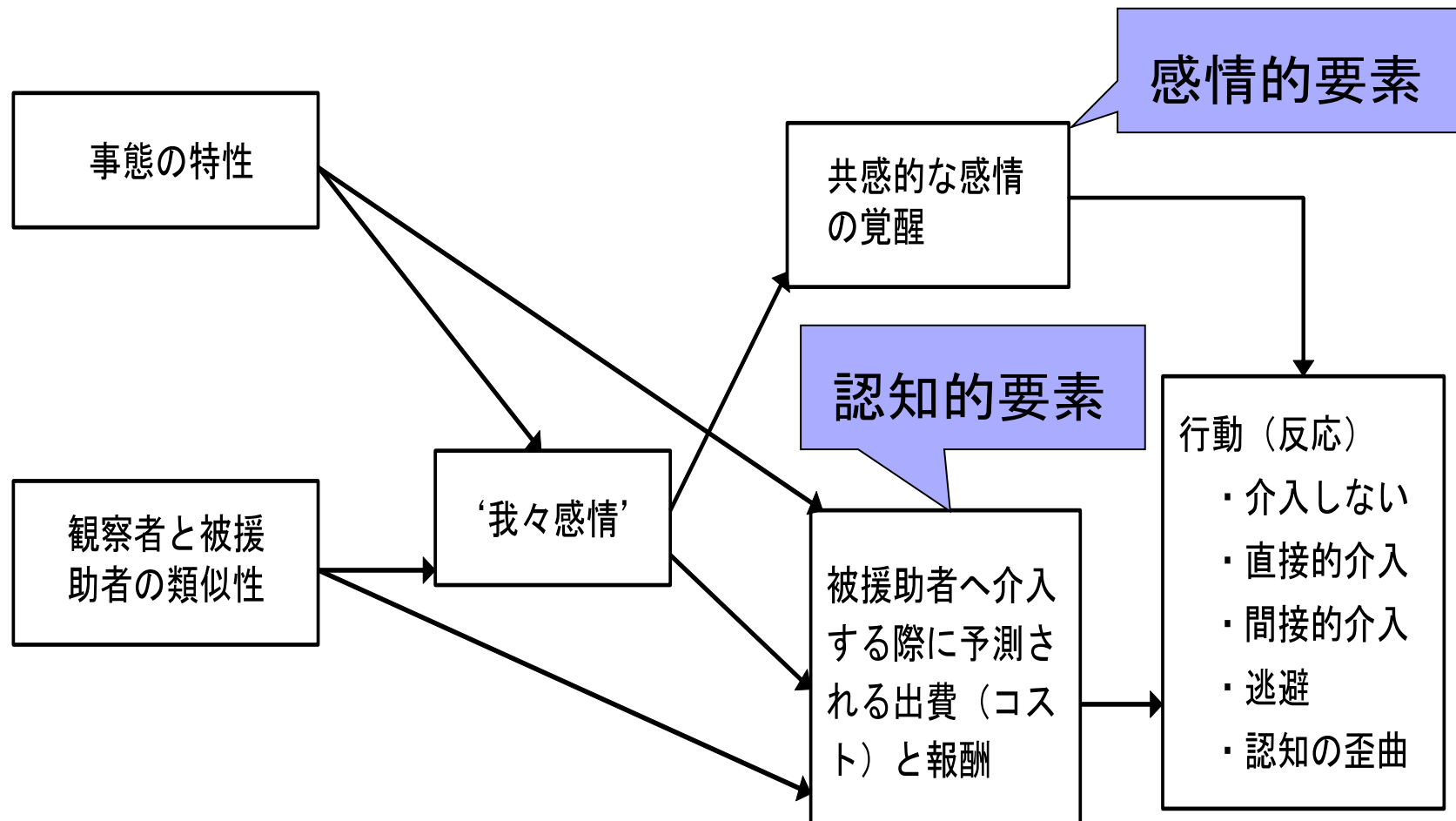



図3.1 援助行動の意思決定過程を説明する出費—覚醒モデル(Piliavin et al. 1982より筆者が作成)

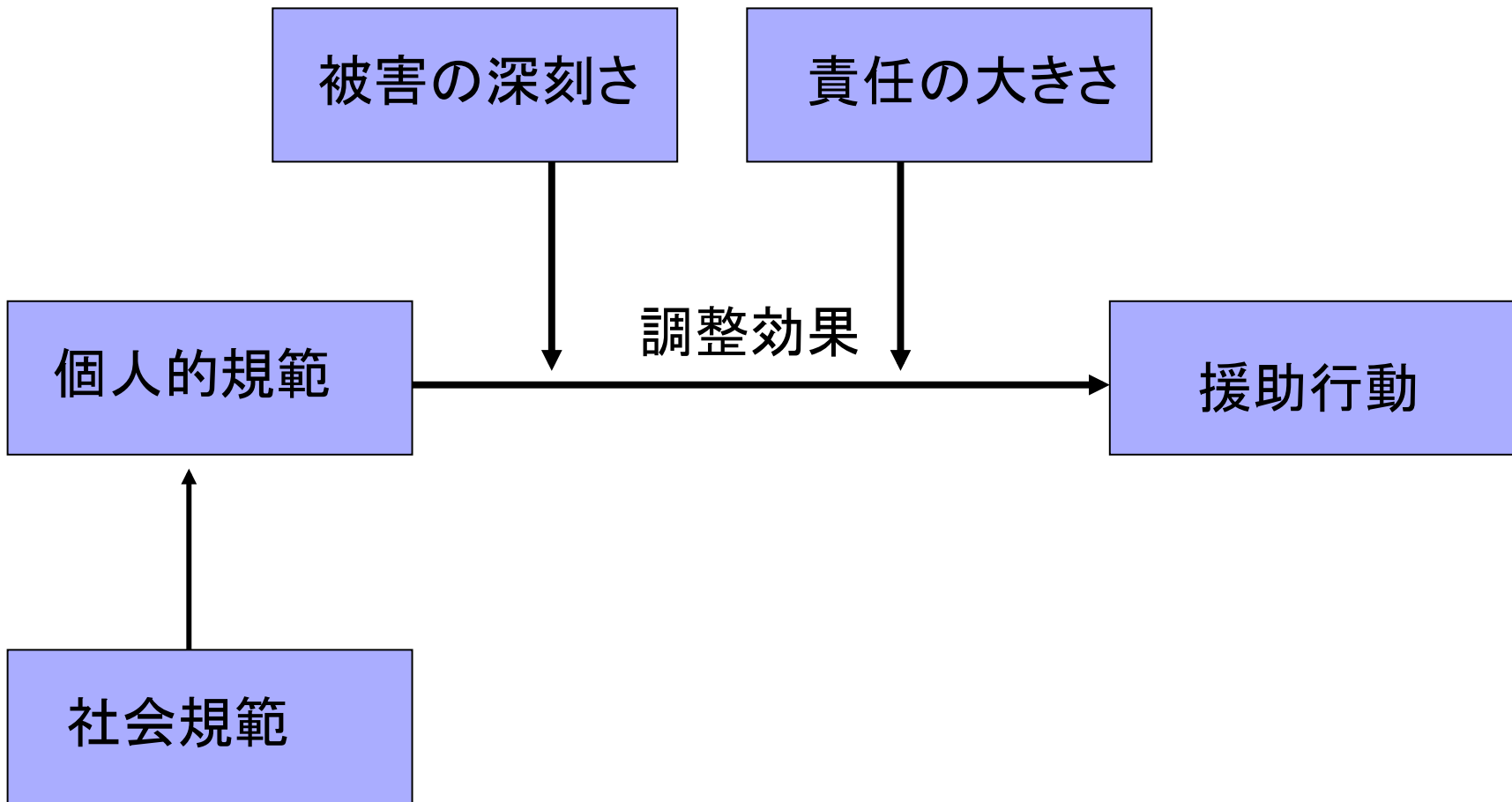
# 環境配慮行動は感情か認知か

- コモンズへの協力行動としての配慮行動  
環境に対する認知的判断にもとづく  
環境配慮の規範意識によるのでは
- 環境問題の被害者救済の行動  
被害者への共感による  
支援としての配慮行動 と  
被害の深刻さや責任の認知的判断による  
援助行動があるのでは

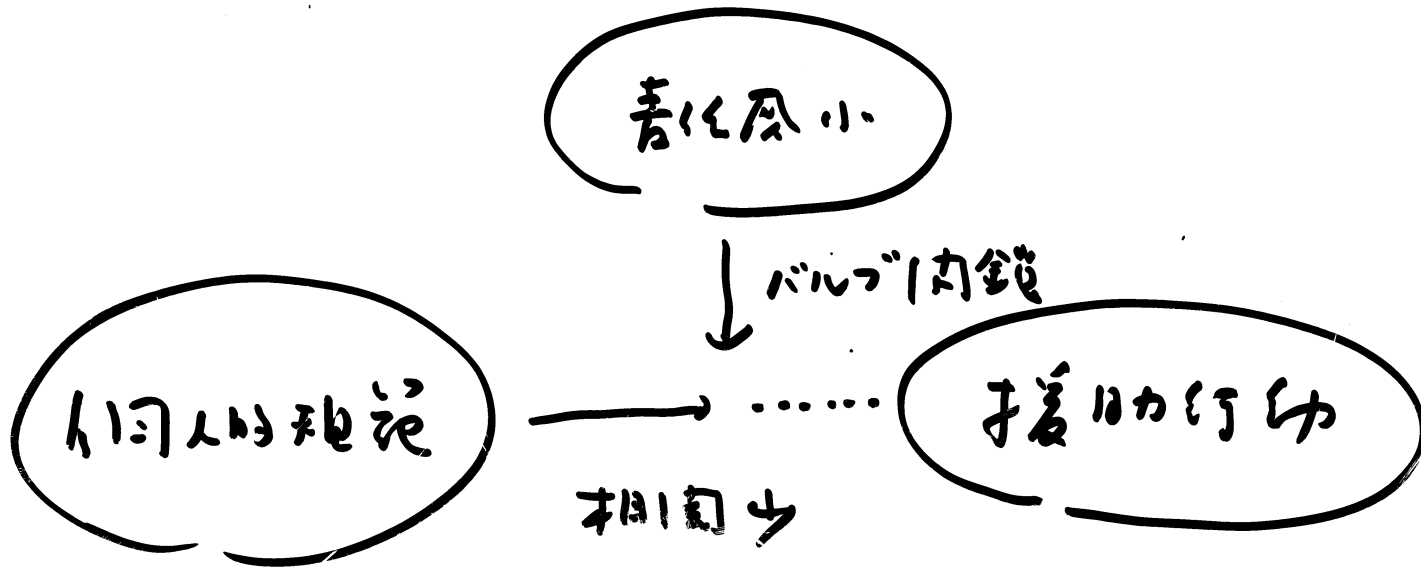
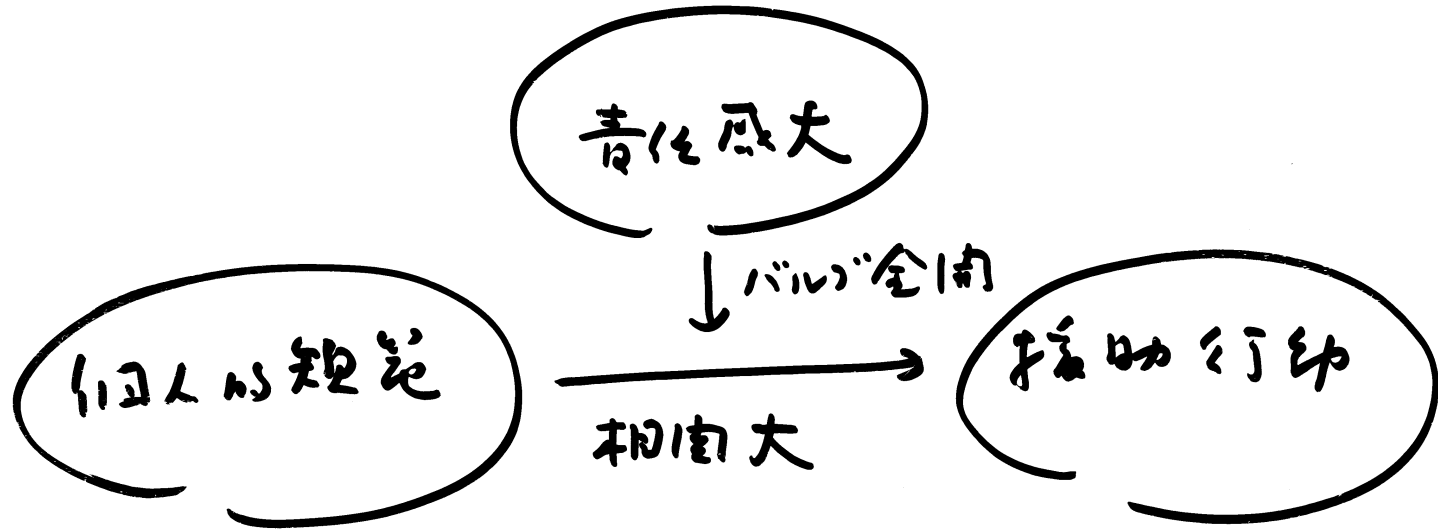
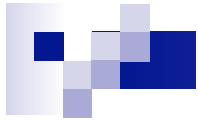


# シュヴァルツの規範的行動のモデル (Schwartz, 1978)

- 愛他行動は個人的規範の喚起により動機づけられる
- 個人的規範が援助場面で喚起されるか否かを規定する調整変数
- 援助行動の責任の認識の有無  
骨髄移植と責任回避傾向との関連  
(Schwartz, 1973)
- 行動結果の重大さの認識の有無  
リサイクル活動と環境問題の関連(Hopper & Nielsen, 1991)



シュヴァルツの規範的行動のモデル





# 個人的規範による交通行動

(Hunecke et al, 2001)

- 市中心部への移動手段としての地下鉄利用についてのフィールド実験
- 公共交通利用による環境保全への貢献という個人的規範とコスト(フリーチケット)の効果
- 個人的規範の規定因としての主観的規範・罪悪感・深刻感

# 愛他行動には4つのタイプがある

- 狭義の利己的行動：互酬的期待による愛他行動
- 広義の利己的行動：自尊心の高揚や罪悪感の回避による愛他行動
- 社会規範にもとづく行動：社会的是認や罰による愛他行動
- 非利己的行動：自己の効用と無関係な愛他的行動



# 環境配慮行動での非利己的要因

- 個人的便益・費用だけでは説明できない
- 社会的ジレンマ状況(廃棄物問題)での協力行動

コモンズ(共有財)の認識・共通の帰属意識(我々感情)による向社会的行動

- 社会的コンフリクト状況(公害問題)での支援行動

共感やコミットメントによる愛他行動

# 規範的モデルの問題点

- 環境問題の被害者への援助以外の環境配慮行動(ゴミ問題)を説明できるか
- 態度(・・・したい)と規範意識(・・・すべき)との機能的違いは？
- 行動場面でどのようにして個人的規範を喚起するのか？